

## 1 記念館の利用の承認等に関する業務

### ● 来館者数の動向

第2四半期の来館者数は3,809人で、前指定管理期間の同四半期来館者数平均値(5,540人)と比べ、1,731人、約31.2%の減となり、判定評価表の評価項目にある80%以上の水準に満たないことから、5点減点とする。

月別来館者数:1,128人(7月)、1,302人(8月)、1,379人(9月)

## 2 記念館の施設及び設備並びに資料等の維持管理に関する業務

### ● 施設・設備の維持管理

- ・ 通常の設定保守・点検等が適切に実施されている。
- ・ 9月には誘導灯ランプ・バッテリー交換作業を行うなど、不具合箇所が認められた場合は、必要に応じて修繕を実施している。
- ・ 館内環境について適宜報告があり、記念館の環境維持に配慮した施設管理を実施している。

### ● 資料等の維持管理

- ・ 施設の特性を考慮しつつ、適正な維持管理が行われている。

## 3 記念館の事業の企画及び実施に関する業務

### ● 上映及び展示

- ・ 展示事業は、7月1日から9月30日まで「シネマ紀行ー日本の風景」を開催し、日本各地の風景や人々の暮らしを映し出してきた日本映画の名作の魅力を旅するように辿る展示を行った。思い出の映画やエピソードをポストカードに書き込んでもらい展示する来館者参加型企画は好評で、海外からの観光客をはじめ多くの来館者が参加した。
- ・ 上映事業は、展示に関連した日本映画の不朽の名作を上映し、デジタル上映では見ることのできない貴重な作品も多かったことから、平均鑑賞者数が約34.5名と概ね良い集客であった。一方で、「戦争と平和」をテーマにした特集上映を行う夏のシネマセレクションは、上映日程が台風7号の上陸と重なったことも影響し、観覧者数が伸び悩む結果となった。また、9月9日に開催した「ゼロの焦点」トークイベントは満席となるなど好評であり、このような取り組みは観覧者の作品に対する理解を深め、記念館の付加価値を高める人気事業となっていることから、引き続き魅力的な事業展開に努めてほしい。

### ● 調査、研究及び情報提供

- ・ 次期特別展示の調査研究のため、国立映画アーカイブやゆかりの地等を訪ね、情報収集を行っている。
- ・ 情報資料室において映画資料や関連図書等の情報提供を行った。

### ● 広報及び宣伝等

- ・ 市広報に展覧会や上映内容などの情報を欠かさず掲載しており、さらに、市役所本庁舎内のモニターによる広告も利用し、より多くの市民等に向けて利用促進の情報発信を行った。
- ・ 企画展が始まった7月には、新聞や情報サイトといった様々な広告媒体において企画展や関連作品の上映情報が紹介され、取材件数が今年度最多となるなど、記念館への集客に向けた広報及び宣伝等につながった。

### ● その他の事業

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により4年ぶりの開催となった「夏休みの映画館」と「ぐるぐるアニメワークショップ」の教育普及事業は、夏休み期間ということもあり、参加者が定員に達するなど好評であった。

#### 4 その他市長が定める業務等

##### ● 事務処理

- ・ 例月の指定管理業務報告書等は期日までに提出されている。  
7月分:8月10日、8月分:9月14日、9月分:10月13日提出

##### ● 事故・苦情対応

- ・ 今期は、フィルム上映中の映写事故による上映の中断が複数回発生した。迅速な復旧対応と観覧者への状況説明によってクレーム等にはつながらなかったが、内部で情報共有を行い、改善策を検討する等、再発防止に努めてもらいたい。
- ・ その他、事故や苦情等があった際には、内部で情報共有を行い、速やかに対応策を検討し、対応している。

##### ● その他

- ・ 今期は、鎌倉芸術館や仙台文学館、茅ヶ崎市美術館等において展示協力を行うなど、文化施設相互の連携を深めるとともに、記念館を訪れたことはない新たな客層に向けた周知・宣伝の効果があつたと評価する。
- ・ 展示内容について解説を行うギャラリートークでは、新たに「東日本編」「西日本編」「番外編」とテーマを設けて実施し、リピーターの獲得に努めた。

#### 5 全体評価

- ・ 今期の来館者数は3,809人で、開館以来の同期比で3番目に少ない来館者数となり、前指定管理期間の同四半期来館者数平均値(5,540人)と比べると、約68.8%と、判定評価表の評価項目にある80%以上の水準に満たなかった。今期は、子ども向けワークショップや来館者参加型企画など、展示及び映画の鑑賞だけではなく様々な側面から映画の楽しさを伝える取組みを実施したものの、例年以上の猛暑や台風等の天候不順が少なからず影響して観覧者数が伸び悩む結果となった。引き続き、魅せる展示と話題づくりなど、観覧者数増加に向けた宣伝・広報を研究するよう努めてほしい。
- ・ 今期は夏休み期間と重なっていたことから、子どもを対象とした教育普及事業を多く実施し、市民等に親しみやすい記念館づくりに努めるとともに、映画文化に関する知識を深める機会を提供した。
- ・ 施設の維持管理などの業務に関しては、細やかな報告が徹底されており、施設管理者に対して市が求める水準に達している。

# 令和5年度第2四半期判定評価表

【鎌倉市川喜多映画記念館】

評価項目	判定点	第2四半期 評価結果	減点
<b>1 利用の承認等に関する業務</b>			
来館者数の動向			
入館者数が前指定期間の同四半期の平均値と比較して80%以上の水準にあるか(不可抗力を原因とするものを除く)	0	×	5
<b>2 記念館の施設及び設備並びに資料等の維持管理に関する業務</b>			
施設・設備の維持管理			
定められた点検が実施されているか	5	○	
不具合箇所を放置せず、必要に応じて修繕を実施しているか	5	○	
庭園、進入路などの手入れはきちんとされているか	5	○	
資料等の維持管理			
資料等の維持管理は適切に実施されているか	5	○	
<b>3 記念館の事業の企画及び実施に関する業務</b>			
上映及び展示			
計画どおりに企画展が開催されているか	5	○	
予定どおり映画上映が実施されているか	5	○	
調査、研究及び情報提供			
映画関連資料等の調査・研究を行っているか	3	○	
研究の成果を公開しているか	3	○	
その他必要な業務			
展示・上映以外の事業は適正に実施されているか	5	○	
来館者ニーズの把握・反映につとめているか	5	○	
<b>4 その他市長が定める業務等</b>			
事務処理			
決められた期日までに報告書は提出されているか	5	○	
市との連絡調整はきちんとされているか	5	○	
市と協議を行った事項は確実に実施されているか	5	○	
固有の銀行口座で適正な会計処理を行っているか	10	○	
苦情対応			
来館者や近隣との間のトラブルに適正な対処をしているか	5	○	
苦情・要望への迅速な処理、市への報告はされているか	5	○	
その他			
研修等自己啓発の努力がされているか	3	○	
災害時の対応ができるよう、準備はされているか	3	○	
個人情報適切に管理されているか	10	○	
<b>減点の計</b>			<b>5</b>

実施されている場合・・・○ 実施されていない場合・・・×

### 減額率

減点の合計	減額率
10～15	5%
16～20	10%
21～	20%